

令和3年度 地域ケア会議報告書

～地域ケア会議の参加者と創った取り組み～



個別課題の解決、ネットワークの構築、地域課題の発見等の実績を積み上げ、地域づくり、社会資源の開発へとつながった地域ケア会議、創設された事例の発表です。



地域包括支援センター 坂下

NO. 1 かすが台シニア見守り隊 見守り活動

地域包括支援センター高森台・石尾台

NO. 2 コロナ禍での介護予防・交流の場づくり

地域包括支援センター藤山台・岩成台

NO. 3 藤山台運動サロン「グリーンクラブ」

地域包括支援センター高蔵寺

NO. 4 会員同士の助け合いの取り組み

地域包括支援センター南城

NO. 5 ラジオ体操の取り組み

地域包括支援センター東部

NO. 6 コロナ禍におけるフレイル予防

NO. 7 ことぶき町みまもりネットワークづくり

「ことぶきおまもりカード」

地域包括支援センター鷹来

NO. 8 あんしんみまもり登録

地域包括支援センター柏原

NO. 9 コロナ禍でもできる地域活動！！「弥生公園グラウンドゴルフ」

NO. 10 ご近所は皆お仲間、公園で会いましょう！「ひだまり会」

NO. 11 老人会八田東長寿会 ラジオ体操

NO. 12 地域みんなで取り組もう かすがい健康マイレージチャレンジ！

地域包括支援センター中部

NO. 13 認知症の方やご家族、地域住民にとって安心して暮らすことのできる地域づくり

NO. 14 生きがい&交流の場づくり

地域包括支援センター西部

NO. 15 多世代交流に向けた取り組み

「おじいちゃん、おばあちゃんあのね」

地域包括支援センター味美・知多

NO. 16 中野町ラジオ体操



NO.1	包括名	地域包括支援センター坂下			
タイトル	かすが台シニア見守り隊 見守り活動				
地域課題	地域全体の高齢化が進み、認知症状がある独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加。もともと地域活動が少なく、近所付き合いが希薄な土地柄でもあり、認知症がある方に対する理解の普及や連携体制づくりが必要になっている				
地域ケア個別会議	日にち	12月23日	参加者	民生委員・地域住民	
地域ケア会議	日にち	2月9日	参加者	自治会役員、子ども見守り隊、民生委員、地域住民、地域福祉コーディネーター	
地域ケア会議	日にち	3月29日	参加者	自治会役員、民生委員、地域福祉コーディネーター	
地域ケア会議	日にち	4月20日	参加者	自治会役員、子ども見守り隊、民生委員、地域福祉コーディネーター	
会議の成果	<p>【概要】地域の有志で見守り活動をするグループを立ち上げ、民生委員とも連携を図りながら高齢者世帯で見守りを希望する方の見守り活動を実施。</p> <p>【実施主体】自治会役員や民生委員とも相談しながら有志の自主事業として展開</p> <p>【継続の方法】有志のグループを主体とし、自治会承認のもと民生委員と協力する仕組みを作り、月1回見守り活動や定期会議を開催</p>				



[地域ケア会議の様子]



《ユニフォーム》 《チラシ》



NO.2	包括名	地域包括支援センター高森台・石尾台		
タイトル		コロナ禍での介護予防・交流の場づくり		
地域課題		<ul style="list-style-type: none"> ・中央台の東部(戸建てエリア)には集会所がない。気軽に集まる事ができる場がなく、心身機能が低下する高齢者が今後さらに増える可能性がある。 ・コロナ禍で地域活動は縮小傾向となっており、集まりの場が少ない。 ・活動自粛を継続している団体もあり、再開に至らない。また感染を心配し新しい集まりの場の立ち上げに至らない。 		
地域ケア個別会議	日にち	8月24日	参加者	本人・地域福祉コーディネーター・介護サービス事業所
地域ケア会議	日にち	10月28日	参加者	本人・地域福祉コーディネーター・介護サービス事業所
会議の成果	<p>【概要】コロナ禍でも集まりやすいよう、身近な場所に小さな集まりの場を作り、介護予防の為に体操を行う。</p> <p>【実施主体】中央台地域住民</p> <p>【継続の方法】毎週木曜日に住民の自宅にて実施。</p>			
				
[サロンの様子]				

NO.3	包括名	地域包括支援センター藤山台・岩成台		
タイトル		藤山台運動サロン「グリーンクラブ」		
地域課題		・地域で運動をしたいと思っている方はいるが、近くで通える場所に運動できる集まりがない。		
地域ケア個別会議	日にち	3月26日	参加者	民生委員・ケアマネ・デイケア職員・地域福祉コーディネーター
地域ケア会議	日にち	4月23日	参加者	自治会・民生委員・UR生活アドバイザー・ケアマネ・地域住民・地域福祉コーディネーター
会議の成果	<p>【概要】地域で通える運動の場を住民主体で開催する。</p> <p>【実施主体】地域住民</p> <p>【継続の方法】運動の内容や感染予防に対する相談や悩み事を定期的にフォローし必要に応じて支援する。</p>			



[講師派遣から発足までの様子]

NO.6	包括名	地域包括支援センター東部			
タイトル		コロナ禍におけるフレイル予防			
地域課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において活動や集まりの場がなくなった ・区や町を越えた交流、活躍の場が必要 			
地域ケア個別会議	日にち	3月26日	参加者	民生委員、理学療法士2名、ケアマネジャー、包括職員	
地域ケア会議	日にち	4月23日	参加者	サロン旧役員、地域住民、地域福祉コーディネーター、包括職員	
会議の成果	<p>【概要】コロナ禍で活動に制限のある中でも「体の健康を守るために目的に合った活動の場に出かけたい」、「自分の役割があるといい」等、心身の健康を守るために地域でできることは何かと、地域住民等と検討し、歌声喫茶を開催しその中で、演歌を楽しみたい、演歌で元気になりたい、との仲間の力が集結し「カラオケ同好会 なごみ」を設立した。</p> <p>【実施主体】地域住民主体の自主事業として展開</p> <p>【継続の方法】住民が主体となり月2回(金曜日)総合福祉センターで活動を開催。</p>				
					

NO.7	包括名	地域包括支援センター東部		
タイトル	ことぶき町みまもりネットワークづくり 「ことぶきおまもりカード」			
地域課題	独居の方が倒れる等、不測の事態が起きた時に連絡先の把握ができていないと地域住民や関係者が対応に苦慮する時がある。特に土日はかかりつけ医や支援機関の対応が難しいことがあるため、住民同士だけでなく、地域全体でお互いに見守り合う関係作りが必要。			
地域ケア個別会議	日にち	R2 9月28日	参加者	サロン代表、民生委員、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議	日にち	R2 12月25日	参加者	サロン代表、民生委員、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議	日にち	R3 2月22日	参加者	サロン代表、民生委員、 医師、歯科医師、歯科事務員、 介護支援専門員、 地域福祉コーディネーター
地域ケア会議	日にち	R3 6月30日	参加者	町内会長、サロン代表、 民生委員、不動産会社、 電気工務店、スーパー、 歯科医師、歯科事務員、 介護支援専門員、 地域福祉コーディネーター
会議の成果	<p>【概要】 住民同士や地域の社会資源との繋がりや地域の見まもりネットワークの構築のため、独自の「おまもりカード」を作成、活用することで、高齢者だけでなくことぶき町のお隣さん単位での見守り合う関係を構築する。併せて近隣店舗の協力のもと、町内を中心とした周辺地域の見守り体制構築を目指す。</p> <p>【実施主体】 町内会長とサロンにより、「おまもりカード」作成、配布。「見守りマップ(仮)」は不動産屋がチラシの裏面を提供し、協力店舗が掲載費を分担。発行後は店舗での掲示や配布を検討。</p> <p>【継続の方法】 おまもりカードはサロンでの配布や民生委員が訪問時に活用。町内会での回覧も時期に応じて行う。</p>			

[地域ケア会議 の様子]



ことぶきおまもりカード

わたしの情報			
名前			
生年月日	大正・昭和・平成・令和 年 月 日	電話番号	自宅 携帯
性別	男・女	血液型	型(Rh+・Rh-)
住所	ことぶき町 瑞穂通		
持病	病歴		
アレルギー			
かかりつけ 医	(病院名) (電話番号)		

	氏名	本人との 関係	電話番号
第1連絡先			
第2連絡先			

その他メモ(ケアマネジャーの名前、連絡先や特記したいことはここへ)

ことぶき『おまもり』カード



このカードは、**冷蔵庫に貼ってください!!**

- ▶ 緊急時
- ▶ 介護サービス等を利用する手伝いを受ける時 など
あなたに代わり、関係者に連絡をとるためのカードです。

このカードは誰でも使えます★

NO.8	包括名	地域包括支援センター鷹来		
タイトル		あんしんみまもり登録		
地域課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でサロンなどが中止となり、地域住民の交流の場が少なくなった。 ・喫茶店には毎日のように通っている高齢者が多くいるが、来なくなった人や気になる言動の人が地域のネットワークに結びついていない。 ・喫茶店の店主としてもおれんじプラスカフェとして登録をしたが、具体的にどのような活動ができるのか、また地域に期待されているのか分かりにくい。 		
地域ケア個別会議	日にち	R2年11月20日	参加者	おれんじプラスカフェ店主、民生委員
地域ケア会議	日にち	R3年6月1日	参加者	おれんじプラスカフェ店主、民生委員
会議の成果		<p>【概要】 おれんじプラスカフェを基点として、登録希望者が喫茶店や地域住民の見守りを受け、異常時には包括へ連絡が入る取組みを行った。</p> <p>【実施主体】 おれんじプラスカフェ店主</p> <p>【継続の方法】 希望者があった場合は、随時店主から連絡が入るようにしている。それ以外では2ヶ月に1回発行する「包括たより」を持っていく際に、情報交換している。</p>		



[地域ケア個別会議の様子]



[チラシ]

NO. 9	包括名	地域包括支援センター柏原		
タイトル	コロナ禍でもできる地域活動！！ 「弥生公園グラウンドゴルフ」			
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で老人会や地区社協サロン活動などが休止して、高齢者の心身機能が低下している。 ・地域での人のつながりが希薄化している。 			
地域協議会	日にち	R2年10月 (書面会議)	参加者	民生委員 老人会会長 地区社協会長 サロン代表 地域福祉コーディネーター等
地域ケア会議	日にち	R2年 12月24日	参加者	老人会会長 地区社協会長 区長 地域福祉コーディネーター
会議の成果	<p>【概要】 コロナ禍で老人会、サロン活動が休止し、つながり作りができず地域の代表者らが活動を模索。弥生公園での外活動グラウンドゴルフを立ち上げた。</p> <p>【実施主体】 老人会弥生会が主催し、地区社協が協力。</p> <p>【継続の方法】 参加者を老人会会員に限定せず継続したいが、参加者が多くなりすぎる心配があり、まずは老人会を中心に開始することとした。参加者が多くなった場合でも制限せず、おしゃべりや見学で楽しめるよう工夫する。サロンが再開した場合は、曜日等調整し、両方の活動を無理なく開催できるようにする。担い手が疲れず運営していけるよう、相談しながら軌道に乗せていく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>地域ケア会議の様子 【感染予防対策をしながら人と交流を楽しめる グラウンドゴルフ】</p>				

NO.10	包括名	地域包括支援センター柏原		
タイトル	ご近所は皆お仲間、公園で会いましょう！「ひだまり会」			
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で老人会や地区社協サロン活動などが休止して、高齢者の心身機能が低下している。 ・地域での人のつながりが希薄化している。 ・老人会の会員が減少している。 			
地域協議会	日にち	R2年10月 (書面会議)	参加者	民生委員 老人会会長 地区社協会長 サロン代 表 地域福祉コーディネーター等
地域ケア会議	日にち	R3年 6月21日	参加者	老人会会長 地域福祉 コーディネーター
会議の成果	<p>【概要】 コロナ禍での活動を模索していた老人会が、新たな活動として、天王公園での外活動を検討。グラウンドゴルフと朝市を組み合わせ、会員に限定せず誰でも気軽に参加、または立ち話(日向ぼっこ)に寄れるような集まりを創設。「ひだまり会」と命名。</p> <p>【実施主体】 老人会柏原喜楽会が新たな活動として実施。</p> <p>【継続の方法】 参加者を老人会会員に限定しない。公園開催による「誰でも気軽に立ち寄ることができる」「通りかかりの人に声をかけやすい」などのメリットを活かし、多世代交流も視野に参加者を増やしていく。地域の人々が老人会活動を知るきっかけにもなり、会員増へつなげ、活動を継続していく。地域包括が地域内マップや一覧に活動を載せ、周知に協力する。</p>			

グラウンドゴルフ・野菜の朝市・体操・おしゃべり、参加のしかたは人それぞれ



[仲間と一緒にコロナ禍を乗り越える！笑顔いっぱいの外活動]

NO.11	包括名	地域包括支援センター柏原		
タイトル	老人会八田東長寿会 ラジオ体操			
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で老人会や地区社協サロン活動などが休止して、高齢者の心身機能が低下している。 ・地域での人のつながりが希薄化している。 ・歩いて行ける場所に参加の場が少ない。 ・老人会の会員が減少している。 			
地域ケア会議	日にち	R3年 8月27日	参加者	老人会会長 地域福祉 コーディネーター
地域ケア会議	日にち	R3年 9月11日	参加者	老人会会長 老人会役 員 地域福祉コーディ ネーター
会議の成果	<p>【概要】老人会会員減少という課題を抱えながら、コロナ禍で活動さえ思うようにできず、何か解決の方法がないかと老人会会長が苦悩していた。社会貢献できる活動を考えたいと、新たな活動として八瑞公園での外活動を検討。ラジオ体操と太極拳を組み合わせ、会員に限定せず誰でも気軽に参加できるように活動を開始。子供会のない地域のため、子供に朝のラジオ体操を体験してもらうことで多世代交流や社会貢献につながっている。</p> <p>【実施主体】老人会八田東長寿会が新たな活動として実施。</p> <p>【継続の方法】参加者を老人会会員に限定しない。商業施設隣の立地の良い公園で開催することにより、誰でも気軽に参加できるメリットを活かし、多世代交流も視野に参加者を増やしていく。地域の人が老人会活動を知るきっかけにもなり、会員増へつなげ、活動を継続していく。地域包括が地域内マップや一覧に活動を載せ、周知に協力する。</p>			
地域ケア会議の様子	当日の様子			
				
<p>クリーン作戦の日と重なり、たくさんの方が参加、子供たちも元気いっぱい！ 皆で体操楽しいね！</p>				

NO.12	包括名	地域包括支援センター柏原		
タイトル	地域みんなで取り組もう かすがい健康マイレージチャレンジ！			
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で地域の集まりの休止が余儀なくされている。 ・長引く自粛生活で心身機能に影響が出ている高齢者が急増し、コロナフレイルとして社会問題になっている。 ・集まりを再開しても、感染拡大により再び休止となる可能性がある。 			
地域ケア個別会議	日にち	R3年 10月12日	参加者	地区社協会長(おしゃべりカフェ代表)・民生委員・ケアマネジャー・地域福祉コーディネーター
地域ケア会議	日にち	R3年 11月16日	参加者	地区社協会長(おしゃべりカフェ代表)・地域福祉コーディネーター
会議の成果	<p>【概要】コロナの影響でサロン等の休止が続いているため、協力員らが参加者に「かすがい健康マイレージ」を配付し、サロン再開時に元気に参加できるようにチャレンジを呼び掛けることを計画したが、感染状況が落ち着いているため12月～八田東嶋公民館で開催する「おしゃべりカフェ」を再開し、参加者と協力員みんなで健康マイレージにチャレンジすることになった。</p> <p>地域福祉コーディネーターは、町内のスーパー等にまいかカードの協力店の登録協力を依頼中。</p> <p>【実施主体】「おしゃべりカフェ」が主体となって実施。開始時に包括の保健師等が参加者のフレイルチェックを行い、自分に合ったチャレンジを助言。</p> <p>【継続の方法】3か月後と6か月後にチャレンジシートを集まりの際に持ち寄り、実施状況を確認。希望者には、まいかカードの申請をカフェの代表者が代行する。</p>			

地域みんなで取り組もう かすがい健康マイレージチャレンジ！



<地域の課題>

新型コロナの影響で集まること
ができない、集まりを再開して
もいつ休止を余儀なくされるか
分からない



高齢者のフレイル
予防・改善に
「かすがい健康
マイレージ」を
活用しよう！

<地域のしくみ>

- ①サロンや老人会などで、かすがい健康マイレージのチャレンジを呼び掛ける
- ②包括の保健師などが、フレイルチェックを実施したり、チャレンジ内容を助言
- ③お互いにチャレンジの実施状況を確認して、励ましあうことで三日坊主にならず続けられるようにする

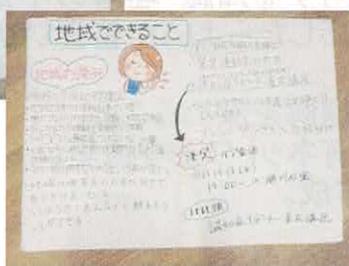
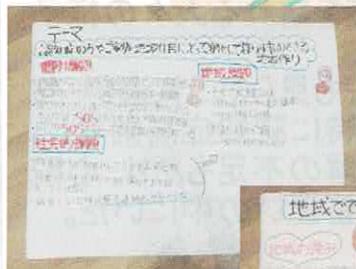


おしゃべりカフェの様子
(参加者全員でフレイルチェック)

NO.13	包括名	地域包括支援センター中部		
タイトル	認知症の方やご家族、地域住民にとって安心して暮らすことのできる地域づくり			
地域課題	<p>・歴史ある商店街(発足から約50年、最も古い店舗は160年以上)がある地域。もともとは店舗を訪れる人々の様子について、気遣い合う風土があった。</p> <p>・地域の希薄化の影響はこの地域でも見られ、気遣い・気付きも個々の段階に留まっていた。特に認知症高齢者については、認知症に対する知識・理解の不足もあり、心配しつつも、どう接し対応したらよいか皆迷いの中にいた。そこで、</p> <p>・地域で認知症への理解を深めること。</p> <p>・店舗間での情報共有ネットワーク構築。</p> <p>・対応マニュアルの作成。</p> <p>を目指した。</p>			
地域ケア個別会議	日にち	令和2年 9月23日	参加者	町内会長・民生委員・商店街店舗・ケアマネジャー
地域ケア会議	日にち	令和2年 10月14日	参加者	町内会長・民生委員・商店街店舗・ケアマネジャー
認知症サポーター養成講座 ひとり歩き高齢者声掛け訓練	日にち	令和2年 11月13日	参加者	地域住民・商店街店舗
地域ケア会議	日にち	令和3年 6月7日	参加者	商店街振興組合理事会
会議の成果	<p>【概要】 認知症高齢者に対する理解を深めるための認知症サポーター養成講座の実施、店舗間ネットワーク構築、緊急時の対応マニュアル作成。</p> <p>【実施主体】 勝川駅前商店街振興組合理事会</p> <p>【継続の方法】 月1回行われる勝川駅前商店街振興組合理事会にて、様子が心配な人について情報共有する。</p>			

(令和2年9月23日地域ケア個別会議)

(令和2年10月14日地域ケア会議)



(見守りネットワーク紹介チラシ)

(緊急時対応マニュアル)

**勝川商店街の
見守りネットワーク**

もしもの時、何かあれば様子を見ます
◎勝川カフェ mon
 31-2232

もしもの時、何かあれば様子を見ます
◎春日井でばてんこだわり商店
 29-7830

もしもの時、何かあれば様子を見ます
◎写真のヤマグチ
 31-3415

もしもの時、何かあれば様子を見ます
◎とりまる
 35-5022

もしもの時、何かあれば様子を見ます
◎川辺商店
 31-2223

もしもの時、何かあれば様子を見ます
◎サイクルセンターフアイ
 33-7775

もしもの時間係先に連絡します
◎カフェ百時
 090-7860-4035

もしもの時、何かあれば様子を見ます
◎勝川駅前通振興組合
 31-9282

高齢者の総合相談窓口です
地域包括支援センター中野
 56-9166

緊急連絡、解決できない場合は **春日井警察署 110番又は56-0110まで**

緊急時の対応

① 困った時チェックリスト

- 何時間もベンチに座っている、お店にずっと座っている
- お店にずっと座っている
- はだして歩いている
- 服装のみだれが気になる
- 冬なのに夏の服装をしている。(その逆もあります)

② 救急かそうでないか見極めます

③ 勝川商店街内で本人に関わる情報を得る。

【勝川商店街振興組合理事店員】

川辺製麺
勝川カフェ mon
ふくいサイクル
とりまる
こだわり商店
カフェ百時
勝川商店街振興組合
写真のヤマグチ

緊急性がある場合
春日井署 110番
0568-56-0110

対応に困ったら
春日井市地域包括支援センター中野
棟前町2-21ふくいサイクル2階
営業日(月～金) 9:30～18:30
電話番号 0568-56-9166
(土、日、月～金、12月～1月)

たすけあいの精神で、
みんなで役割分担して対応しましょう！

NO.14	包括名	地域包括支援センター中部		
タイトル		生きがい&交流の場づくり		
地域課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域住民の活動の場が減少 ・コロナ禍でも開催するための段取り ・期間限定、地域包括支援センター共催で始めた取組の恒久化と地域住民による主催化 		
チャレンジサロン「書道」の開催	日にち	1月5日 3月2日 4月6日	参加者	民生委員・地域住民
地域ケア会議	日にち	5月11日	参加者	民生委員・地域住民
会議の成果	<p>【概要】 サロンを住民のものとするため、皆で相談して「夢クラブ～書～」と命名。コロナ禍で開催していくためのガイドラインを策定。</p> <p>【実施主体】 地域住民</p> <p>【継続の方法】 毎月第1火曜日10:30開催として定期実施</p> <p>【その他】 新聞記事になりました。</p>			



この楽しい時間を



皆で続けて行こう
(令和3年5月11日地域ケア会議)





「暮らしのニュース」
記事

NO.15	包括名	地域包括支援センター西部			
タイトル		多世代交流に向けた取り組み 「おじいちゃん、おばあちゃんあのね」			
地域課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で高齢者も子どもも交流の機会が減っている。 ・近隣の交流も希薄となり、多世代交流の場がない。 			
地域ケア会議	日にち	10月29日	参加者	町内会会長、駄菓子屋さん、サロン代表者、地域福祉コーディネーター	
地域協議会	日にち	11月16日	参加者	区長2名、地区社協会長、民生委員協議会会長、民生委員、サロン代表者、地域サロン参加者3名、地域福祉コーディネーター	
会議の成果		<p>【概要】 地域の駄菓子屋を拠点に「おじいちゃん、おばあちゃんあのね」(質問用紙)を設置し、買い物に来た子ども達からの質問を集める。高齢者サロンと連携し、サロン参加者が質問に対する返事を記入し、駄菓子屋へ返信する。手紙でのやりとりを通し、交流を行っていく。</p> <p>【実施主体】 地域の駄菓子屋、高齢者サロン参加者</p> <p>【継続の方法】 サロンと駄菓子屋がスムーズな連携がとれるようマニュアルを作成した。高齢者からの返答後は、駄菓子屋で掲示する。コロナ感染状況が落ち着き次第、子ども達と高齢者との交流会を検討する。</p>			
<p>[駄菓子屋さんでの様子]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>					

NO.16	包括名	地域包括支援センター味美・知多		
タイトル	中野町ラジオ体操			
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による外出回数の減少 ・地域住民間の見守り不足 ・老人会以外の活動の場が近くにない 			
地域ケア会議	日にち	7月6日	参加者	中野町区長、老人会会長、民生委員、子ども会会長、基幹包括、地域福祉コーディネーター
会議の成果	<p>【概要】 コロナ禍でも密にならずに住民同士顔を合わせて体を動かすことができる活動の場作りを行った。老人会、子ども会と協力し、高齢者と子どもと一緒にラジオ体操を行い、多世代交流を図ることができた。交流を図る中で住民間の見守りも行うことができ、緊急時に対応できるように緊急連絡カードを作成した。</p> <p>【実施主体】 老人会、子ども会</p> <p>【継続の方法】 毎週月・木曜日に老人会のグラウンドゴルフの前にラジオ体操を行うようにする。子どもは長期休暇に参加する。サロン協力のもと、ラジオ体操に参加するごとにスタンプがたまり、サロンで提供されているコーヒー1杯と交換できるようにする。</p>			

[ラジオ体操の様子]



[チラシ]

住み慣れた場所でいつまでも元気に！
ラジオ体操を始めます

健康づくりの第一歩

子どもから高齢の方までどなたでも参加できます

場所 中野まんなか公園
 内容 ラジオ体操第一
 日時 毎週 月・木曜日
午前8時半から10分程度

*雨天中止とさせていただきます
 暑い時期となります。熱中症、感染症対策は行っていますが、香汗、飲料水等お持ちになり、体調管理等十分気をつけてご参加ください。

[緊急連絡カード]

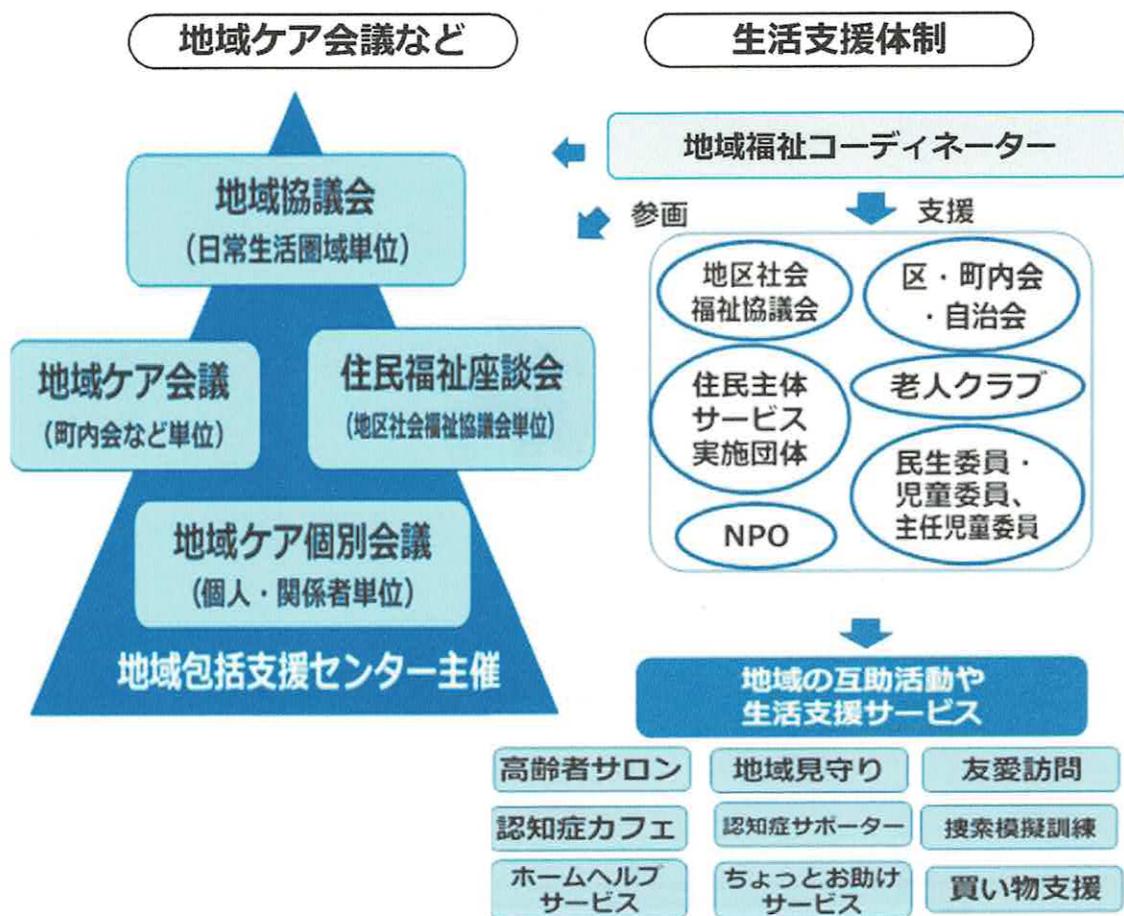
中野町健康まもるカード

氏名 _____ 血液型 _____
 生年月日 _____ 年 月 日 性別 _____
 住所 _____
 緊急連絡先 (子ども) _____ (高齢者) _____

NO. _____ NAME _____

スタンプシートはご本人のみ持ち帰り、子ども会・老人会・サロン・サロンで保管してください。
 スタンプは毎月1回お楽しみ会・サロン・サロンで提供いたします。当日のスタンプは有効です。

地域福祉の視点から 地域の生活課題を解決する仕組みづくり



地域協議会や地域ケア会議などを通じて、住民が主体的に地域の生活課題などを話し合い、解決を試みることができる仕組みづくりを構築します。また、地域福祉コーディネーターが課題解決に向けた地域福祉活動を支援します。

市民が主役の地域福祉を「共に創る」



令和3年度 地域ケア会議報告書
～地域ケア会議の参加者と創った取り組み～



令和4年1月20日

春日井市地域福祉課
春日井市地域包括支援センター